

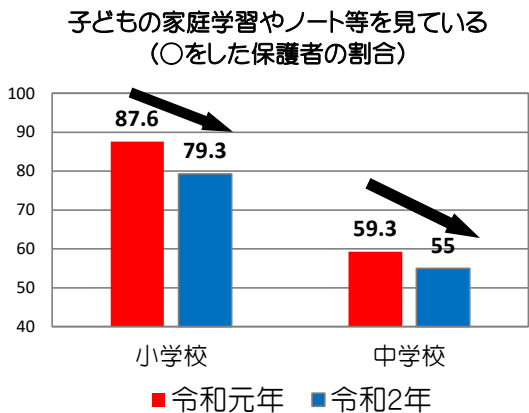
家庭・学校・地域で育む子どもたちの未来

昨年より新型コロナウイルス感染予防のため、臨時休校や3密にならないよう意識した学校行事など今までとは違った学校生活を送ったと思います。また、家庭での過ごし方について改めて考えさせられた1年ではなかったでしょうか。

コロナ禍の状況の中、令和2年度の家庭のルールづくりチェックシートに幡多地区小中学校 62校の子どもたちと保護者に答えてもらい集計しました。その項目の中には、「コロナ禍で家庭学習(宿題)がおろそかにならないように保護者はどうしたらいいのだろう」という声があり、【保護者】質問②「子どもの家庭学習の様子やノート等を見ている。(様子が見られない場合は、ノート等を見るだけでOK)」に記述式の項目を設けました。多くの保護者から家庭での関わり方について教えていただきました。その一部ですが、参考にさせていただけたらと思います。

<家庭ルールづくりチェックシート集計結果より>

子どもへの関わり方 記述内容より

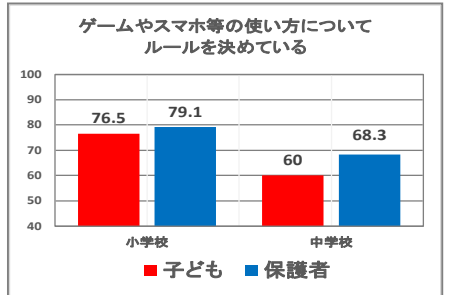


チェックシート質問番号②より

- ・家に帰ったら一番最初にプリントやノートを見せてもらうようにしている。とにかく褒めます。
- ・リビングで勉強しているので、いつでも見られるようにしている。
- ・親に見られることを嫌がることもあるため、朝こっそりと見ている(見守っている?)。間違えていた時は、それとなく伝える。
- ・本人がノートやプリントを見せて来てくれるので褒めている。本人の努力している部分を見るようにしている。
- ・宿題は毎日確認し、その後、担任の先生との連絡ノートやコメントを見て、その日の出来事などを話す時間をつくっています。
- ・「今日の宿題は何?」といつも聞いている。
- ・ルール表(簡単な)を作って、テレビ、お手伝いの習慣をつけるようにしている。
- ・「漢字ノートの字がきれいよね」とか返ってきたテストを見て「頑張ったね」などの声かけをよくしている。
- ・プリントは必ず見せてもらっています。テストも必ず見えています。頑張っていることは親子でよく話し合っています。
- ・宿題を見られないときでも、終わったら決まった場所に、終わった宿題と連絡帳を出させるようにしている。必ず目を通すようにしている。

<幡多っ子ネット宣言 Ver.3 に家族のルールを書き込もう!!>

インターネットやスマホを利用する子どもの割合が年々高くなってきています。昨年10月に行われた調査(高知県内の小学5年から中学3年対象)では、95%以上の子どもがインターネットを利用していると答えています。インターネットは大変便利なものですが、その反面、ゲーム依存、長時間の動画視聴、いじめ、犯罪に巻き込まれる等の危険があり、今現在もそれらの問題が発生しています。そのような状況から子どもたちを守るために幡多っ子ネット宣言が今年の3月に Ver.3 へと改定されました。



チェックシート質問番号④より

みんなで育てる幡多の子ども Ver.3

幡多っ子 ネット宣言

近年、幡多地区内の小中学生の携帯電話、スマートフォン、タブレットPC等のネット端末の所持率が上がっています。ネットの上手な付き合いが期待されますが、ゲーム依存や長時間・深夜の利用により生活リズムが乱れたり、SNSによるトラブルが学校内だけでなく、学校外や通学途中でも起きている可能性があります。

こうした問題から子どもたちを守り健やかに育んでいくために、平成27年に「幡多っ子 ネット宣言」を掲げ、学校や家庭のルールづくりを推進してきましたが(平成29年改訂)、この度、その内容をさらに改訂することにしました。学校や家庭でネットに関するルールづくりを行い、子どもたちが自分でネットと上手に付き合えるようにします。

※平成29年改訂版とは異なる点: LINE、Twitter、Facebookなど、検索機能でプロフィールが公開されるSNSの活用

- ◆小学生は夜9時、中学生は夜10時以降に使用しません
- ◆人を傷つける手段として使用しません
- ◆フィルタリング機能を設定します
- ◆困った時は、親や先生、関係機関に相談します
- ◆わが家・友だち同士のルールをつくります

【実践】

- 使用しない時間帯を決めている。
- 家庭での置き場所を決めている。
- ネット上での個人情報や写真の書き込みがない。
- フィルタリングを設定している。
- 不審なことがあったら一人で悩まず親に相談している。
- 会員登録やアプリをダウンロードする際は必ず年齢確認している。
- 心当たりがないメールは開かない。
- 子どもが常駐したお金をチャージしていない。
- 情報モラル教室(スマホ教室)などへ参加している。

令和3年3月
幡多市町村教育委員会連合会
幡多小・中学校長会
幡多地区小中学校PTA連合会
西部教育事務所

おさえておきたい8つのポイント～ネットと上手に付き合うために～

① 手元がない不安、長時間使用に注意!

オンラインゲームや無料通話メールアプリなどの影響で、スマホが手元がないと不安になっています。長時間使用で、手が疲れたり生活が乱れたりする危険があります。ゲーム依存、睡眠障害や倦怠感と認定されています。【資料1、資料2】

【資料1】ゲーム依存の診断基準(WHO)

【資料2】ゲーム障害について(WHO世界保健機関より)

WHO(世界保健機関)が2019年5月に「ゲーム障害」を病名に認定

- ゲームをする時間と自分でコントロールできない
- ゲーム以外の出来事や仕事に集中できなくなる
- 日常生活に支障をきたしてもゲームを優先する

毎日の生活が12時間以上ゲーム(ゲーム障害)となる

ゲーム障害によって起こる問題

- 睡眠がとれない
- 学校に遅刻・欠席する
- 成績低下
- 健康被害(生活)
- 消費を繰り返してゲームに没頭
- ゲームに費やすお金が多くなる

② 情報をネット上にアップすると完全には削除できません!

ネット上に不審な書き込みをしたり、自分や友だちの個人情報(写真・動画を含む)をアップしたりして、トラブルになることがあります。情報をアップしただけで削除しようとしても、完全に削除できません。

③ ネットいじめが増えています!

【資料3】インターネットによるいじめの認知件数(児童生徒の認知件数を生徒数1000名に換算した割合)

ネットいじめ認知件数

みんなで育てる幡多の子ども

わが家の ネット宣言

携帯電話、スマートフォン、タブレットPC等のネット端末は、親が子どもに与えるものです。使い次第で、便利にも危険にもなります。

子どもに与える(た)時は、本人も納得できるルールを親子で話し合いましょう。「幡多っ子 ネット宣言」を参考に、ご親子でチェックしやすく改定されたこの「わが家のネット宣言」を参考に、ネットに関するルール「わが家のネット宣言」を作成し、下の記入欄に書き込んで下さい。記入後は、お家の見える場所に貼って、ネットと正しい付き合いができるようにしましょう。また、作った宣言を基に、親子で時々話し合いをしましょう。そうすることで、将来、子どもが大人になった時に、自分でルールを決めて、ネットと正しく、そして、上手に付き合えるようになるでしょう。

<一人一人のかけがえない成長を育むために>

- ◆ 日頃から親子でコミュニケーションを取りましょう。
- ◆ 相手が良いや悪いの大切さを話し合いましょう。

親子で話し合って決めて下さい

令和 年 月 日

「わが家のネット宣言」作成 親子会議

名前(親):

名前(子):

<1ページ>

- ・はたっぴーが登場
 - ・「人を傷つける手段として使用しません」という内容が加わりました。
 - ・4者の代表が意見を出し合って作成されました。
- 幡多市町村教育委員会連合会
幡多小中学校長会
幡多地区小中学校PTA連合会
西部教育事務所

<2,3ページ>

- ・押さえておきたいポイントを8つに!
- ・国の調査で集計されたデータを掲載
- ・インターネットの利用時間と学力の関係
- ・ネットいじめの認知件数
- ・SNS等に起因する犯罪による被害者数
- ・ゲーム障害について 等

<4ページ>

- ・我が家のルールを家族で話し合い、その内容を書けるようになっていきます。
- ・～ルールを考えていくポイント～
- ・曖昧な内容になりやすいので、具体的な内容になるように話し合いをしましょう。(例 短い時間の利用→15分の利用 など)